



競泳人生にピリオド

2011年からフットマーク Jaked Elite Team の所属選手として世界で戦ってきた金藤理絵さん。2018年3月に現役引退を表明し、先日記者会見が行われました。今後は「フットマークブランドアンバサダー」を担っていただき、水泳イベントなどで一緒に全国各地を飛び回る予定です。

本当に長い間、おつかれ様でした。
そしてありがとうございました。

■プロフィール

金藤理絵 (かねとう・りえ)
1988年9月8日生まれ、広島県出身。
フットマークとは2011年に Jaked Elite Team の所属選手契約を締結。翌年の2012年ロンドン五輪では代表の座を逃す。その後は毎年のように進退について悩む時期が続くが、2015年の世界水泳での自身のふがいない結果に気持ちを入れ替え、「覚悟」を決め五輪出場を目指す。2016年の3大陸対抗戦にて自身の持つ平泳ぎ200mの日本記録を0.68秒更新。実に6年と5か月ぶりの快挙だった。同年、日本選手権で日本新記録で優勝を飾り、リオ五輪では圧倒的なレースで金メダルを獲得した。

ずっと水泳と”イコール”でつながれるような人生、活動を行っていききたい

競泳人生を振り返って

この年齢まで続ける環境をつくっていただいたことに感謝の気持ちしかありません。楽しそうだと始めた水泳がいつしか自分を苦しめる存在になっていた時期もありましたが、今は辛かったことも自分のためになったと感じています。「競泳の金藤理絵＝水泳」は終わるので寂しい気持ちもありますが、これからは「金藤理絵＝水泳」に変わりはありません。ずっと水泳と”イコール”でつながれるような人生、活動を行っていききたいです。

一番思い出のレースは？

(リオ五輪出場を決めた)2016年の日本選手権がベストレースでした。純粋に応援が嬉しくて不安がありませんでした。もし辞めていたらこれほど応援してもらったこともなかったと思います。コース台へ向かいながら”自分は本当に幸せ者だ”とかみしめていました。今までに一度もない経験でした。

これからは？

この一年半、多少なりとも指導に関わることがありました。ただの選手でもなく、ただの指導者でもない中間の立場をとして気づけたことを伝えていき、選手と指導者の橋渡しとなるような存在になりたいです。



ありがとう! 金藤理絵選手 2011-2017

GRAZIE MILLE.



引退特設サイトのお知らせ

ありがとう金藤理絵選手 2011-2017

これまでの感謝の気持ちを込めて、金藤理絵選手引退特設ページを開設いたしました。2011年から2017年までの競技やフットマークとの出来事を振り返っています。金藤さんのコメントも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

<http://www.footmark.co.jp/kanetorie>



NEWS 競泳・後藤真由子選手の入社および所属契約締結のお知らせ

このたび、競泳の後藤真由子(ごとうまゆこ)選手(神奈川県大4年)が「Jaked Elite Team(ジャケッドエリートチーム)」の仲間に加わりました。今後はチームの一員として競技会に出場します。

後藤真由子 (Mayuko Goto)

<生年月日>1995年7月13日(22歳)
<出身地>愛知県名古屋市港区
<身長>168cm
<種目>背泳ぎ(100m、200m)、自由形(長距離)
<出身校>名古屋市立港南中学校~私立中京大学付属中京高校~神奈川大学
<主な戦績>
・2016年 日本選手権 3位
・2016年 日本学生選手権優勝
・2016年 アジア選手権 4位
・2017年 日本選手権 4位
・2017年 第29回ユニバーシアード大会 8位
※いずれも200m背泳ぎ



後藤真由子選手コメント

4月よりJaked Elite Teamとしてフットマーク株式会社にお世話になることになりました。私は自分の持ち味であるガッツある泳ぎで、応援して下さるすべての人に笑顔になってもらいたいと思っています。東京2020に向けてより一層努力し精一杯戦ってまいりますので、よろしくお願いたします。

すみだめぐり 両国さかさかさ



(上) 両国さかさかさ。道端に普通にあります。
(下) 両国国技館の大屋根には秘密が。

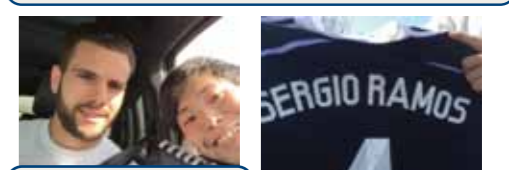
「両国さかさかさ」は雨水を集め、その水を花壇への水やりや打ち水などに有効活用するための天水収穫装置です。ライオン株式会社とNPO法人の雨水市民の会が2008年から、「雨の恵みプロジェクト」を推進しており、「両国さかさかさ」はその一環として、2010年に設置されました。ちょうど両国国技館の目の前にあります。実は両国国技館自体にも雨水を再利用できる設備が完備されています。大屋根に降る雨水を貯めて、水洗トイレや冷却用水などの雑用水として使っており、その量は1200万ℓにもなります。国技館では、雑用水のうち約8割近くを雨水でまかなっているそうです。元々墨田区の錦糸町や両国地区などでは都市型洪水に悩まされていたため、区が国技館が現在の地へ移転するタイミングで雨水の再利用を申し入れたのが始まりです。

【住所】 東京都墨田区横綱 1-2-16
【アクセス】 JR 総武線両国駅西口すぐ

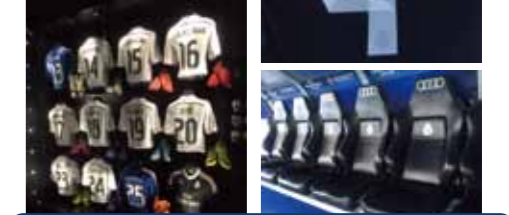
サッカー好きへ贈る スペインマドリードでのおすすめの過ごし方ベスト3



No.1 レアルマドリードの試合を観戦する。



No.2 練習場に行き、選手に会う



No.3 レアルマドリードのホームスタジアムのスタジアムツアーに参加する。

FOOTMARK 人々
37人目

長谷川亮輔
Ryosuke Hasegawa



初志貫徹

- 部門** ウェルネス部
- 入社** 2017年
- 出身地** 千葉県
- 趣味** バドミントン
サッカー観戦

私の健康法 毎日運動する！
運動して汗をかくことが好きで毎日運動しています。特にバドミントンは、仕事終わりにクラブチームに行き練習しています。多いときには6日間で9つのチームにお邪魔しています。

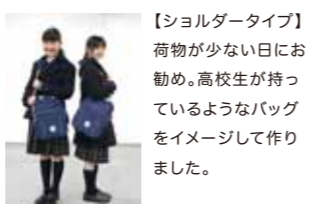
今年は通学カバンづくりに挑戦しました！
スーパー中学生
ものづくりプロジェクト



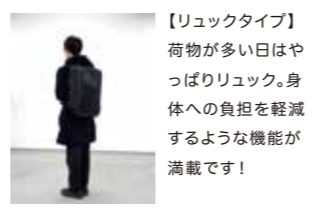
2012年より始まり、今回で4回目となる「スーパー中学生ものづくりプロジェクト」。現在の不満や課題を解決し自分たちが使いたいと思う商品をつくるため、未経験のものづくりに挑戦しました。今回はシリーズ初のカバンづくりに取り組みました！



参加してくれた4名。自分たちのつくった通学カバンと一緒に記念撮影。



【ショルダータイプ】
荷物が少ない日にお勧め。高校生が持っているようなバッグをイメージして作りました。



【リュックタイプ】
荷物が多い日はやっぱりリュック。身体への負担を軽減するような機能が満載です！



専用サイトでは、これまでのストーリーや完成した商品の詳細をご紹介します。
4人の感想も掲載していますので、ぜひご覧ください。

<http://www.ukiuki.jp/footmark-school/2018/>



三瓶 芳 (さんべ かおる)
フットマーク代表取締役社長
1958年1月27日(昭和33年) 島根県生まれ
1980年 駒澤大学卒業 2012年 社長就任
謎の体調不良が続いています。毎日の午後の紅茶ミルクティーが原因では？とささやかれています。違ふと思います。身体は不調ですが、心は元気です。季節の変わり目、皆さまどうぞご自愛ください。

KAORU の部屋 14

スーパー中学生ものづくりプロジェクト

現役中学生と「ものづくり」を行う共同企画に、都立両国高等学校附属中学校の4名の生徒さんが参加してくれました。今年のテーマは通学カバンで、昨年の11月から約4か月間かけて企画を進めてきました。アンケートの実施から始まり、コンセプトの検討、形やデザイン、機能やロゴまで自分たちで考えて、2月末にようやく完成しました。特に印象深かったのは「縦型と横型どちらのカバンをつくるか」という最初の段階の議論でした。互いに譲らない白熱した展開となり、何とも言えない緊張感が漂っていました。ものづくりに対する真剣な彼らの想いが伝わる場面でした。また現状のカバンに対する課題は、ホワイトボードが一面埋め



つくされるほどで、彼らの「気づく力」には本当に感心させられました。普段から商品開発に接している私どもをはるかに凌いでいます。やはり「お客様の声」が良い商品づくりには欠かせません。最後の発表会で、ものづくりの喜びや完成の喜びを感想としていただいた時は本当にうれしく感じました。彼らが今後ますます自分たちの個性を生かし、大きく成長されることを願いたいと思います。4名の方々本当におつかれさまでした。

フットマーク株式会社
代表取締役 三瓶 芳



春の訪れ♪甘さとほんのり塩味の絶妙ハーモニー！

大川屋 本店

和菓子 禁煙 約8分

3月3日はひなまつり。毎年フットマークでは「桜餅」が振る舞われます。その恒例の桜餅は「大川屋」さんのものです。程よい餅と餡の甘さと桜の葉の塩加減が絶妙です。桜餅といえば、葉を食べる食べない論争がありますが、基本的にどちらもマナー的には問題ないそう。ちなみにフットマークのある東京・墨田区では最初に関東風の桜餅を作り始めたと言われる向島の長命寺もとても有名です。



東京都墨田区両国 3-7-5
TEL: 03-3631-3759
<https://tabelog.com/tokyo/A1312/A131201/13118229/>

編集後記

先日、金藤理絵さんの引退会見があり、会場に行かせていただきました。約7年間フットマークの所属選手として戦う金藤選手を応援してきました。ご本人も寂しいという気持ちも口にされていましたが、ここ一年くらいは各地をイベントで飛び回るイキイキとした金藤さんも見られました。これからは金藤さんの経験や伝えたいことを一人でも多くの方に届けられるよう、私たちは活動していきます。まさに新たな挑戦です。特設サイトもぜひご覧ください。

フットマーク株式会社
広報担当：吉河祐子
Tel: 03-3846-3382
webmaster@footmark.co.jp

※ぜひ感想をお寄せください

記事は <http://www.footmark.co.jp/about/monthly/index.html> からご覧いただけます

公式Facebookページ <https://www.facebook.com/footmark210/>